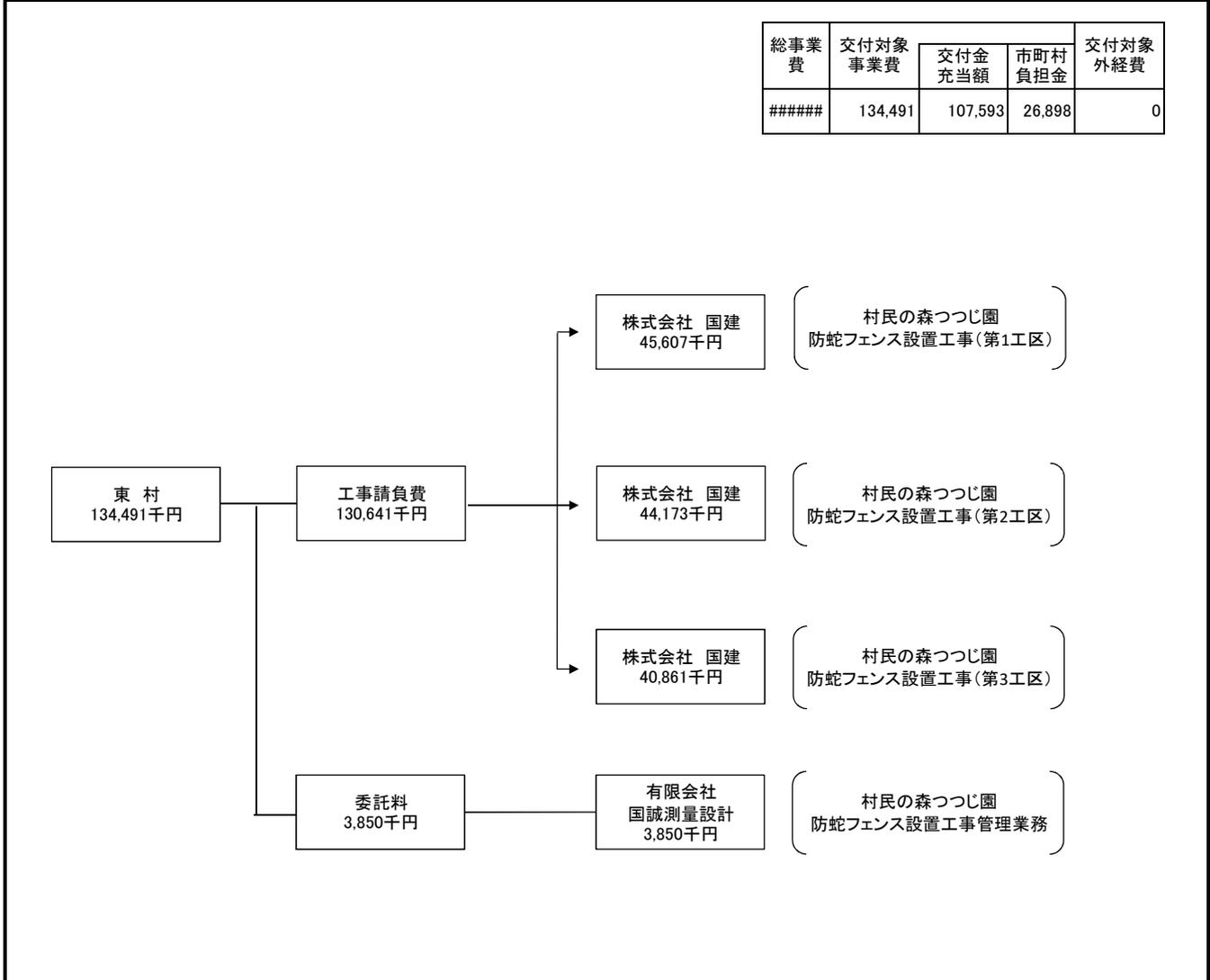


市町村名	東村						
令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	ハブ咬傷対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
担当部署名	企画観光課	事業実施(予定)年度	令和2年～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	東村の主要観光施設である村民の森つつじ園にハブフェンスを設置する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	143,000	143,000			
		(b)予算現額	143,000	114,400			
		(c)増減額(b-a)	0	0	0		
		(d)繰越額	0		33,381		
	A. 計(b+d)		143,000	0	0		
	B. 執行済額		109,619	109,618	24,872		
	うち交付金充当額		87,695	87,695	19,898		
	次年度繰越額		33,381	0	0		
	執行率(%) (B/A)		76.7%	#DIV/0!	74.5%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		・計画していた工程の一部で設計変更が生じたことから不測の日数を要し一部繰越となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	測量調査及び設計の実施	目標	実施設計				
		実績	実施設計				
	防蛇フェンス設置工事の実施	目標		設置工事			
実績			設置工事				
達成状況説明	令和2年度に実施設計が完了し、令和3年度より設置工事を行った。令和3年度工事の一部区間において繰越しており、未完了。咬傷被害は0件となっていたが、ハブ等の目撃情報はあり事業完了を急ぐ。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	防蛇フェンス設置工事の実施	目標	( )	( )	フェンス整備工事の完了	( )	( )
		実績	/	/	フェンス整備工事の完了	/	/
	ハブ咬傷件数	目標	( )	( )	( 0件 )	( 0件 )	( 0件 )
		実績	/	/	0件	0件	/
進捗状況説明	【令和3年度】 ・防蛇フェンスは一部区間において繰越しており、未完了。咬傷被害は0件となっていたが、ハブ等の目撃情報はあり事業完了を急ぐ。 【令和4年度】 ・防蛇フェンスが効果を発揮し、ハブ等による咬傷被害は0件となっている。また、フェンス内でのハブ等の目撃等の情報も無かった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	【令和3年度】 ・事業未完了。咬傷被害は無かったが、目撃談はあり。  【令和4年度】 ・事業効果は計画どおりしっかりとでている。作業員も安心安全に作業に取り掛かることが出来た。	【令和3年度】 ・事業完了を急ぐ。一部完成箇所において赤土の堆積が確認された。堆積しないよう大雨時等排水の改善を検討する必要がある。  【令和4年度】 ・園内道路改良工事の際に排水の改善も行ったが、一部赤土の堆積等が確認された。フェンスの効果を維持するためフェンス周りの除草、清掃を徹底する。
今後の取り組み方針		
【令和3年度】 ・祭り終了後、直ちに工事を再開し、事業の完了を急ぐ。  【令和4年度】 ・施設管理人、作業員と防蛇フェンスも含めた適切な維持管理作業を計画する。通年の行方ルーティン、台風、大雨時等の異常気象後のメンテナンスについて検討を行う。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先の設定方法は、実績等を勘案し指名競争入札において委託業者を選定した。 ・予算規模については、事業目的を達成するために必要な費用を計上しており、適正であった。 ・費目・用途については、業務完了後に検査を実施。適正に実施されていることを確認している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	